公共下水道事業は市民の合意で慎重に

平成15年から工事が始まった公共下水道は、第3期事業まで進みました。これまで下水管への接続率は、4月30日現在で、1195世帯、2920入、121店舗等で、接続率は59%。

下水道事業の総事業費は、平成15年度から平成26年度決算見込みで、概算74億円となっております。その財源内訳は、国費が30億円、企業債が35億円、受益者負担金が8000万円、残り8億2000万円が一般会計からの繰り入れとなっています。（企業債の26年度末未償還元金現在高は32億1462万3，000円）。

安江ゆう子市議は、これから50年間、平成77年まで利息を払っていくことや、下水道への市民の要求などをしっかりふまえて、市民合意で今後の下水道事業は慎重に行うべきだと質問しました。

安江　企業債の利息が平成42年まで事業をするとしまして、利息は5年据え置きの30年償還ですので、平成77年まで利息を支払うということですね。

上下水道課長　間違いありません。

安江　第4期の事業には御厨北平免、発電所から御厨の方向の人家の少ないところを通って御厨星鹿に延びる。そして、調川の方は今福のほうに延びるという計画ですけど、人口減とか接続率の改善とか、それから、市民の生活状況などがやっぱりいろいろ変化する中で、見直しをされるのはやむを得ないと思います。

上下水道課長　下水道計画につきましては、国の指導としまして、人口減少、少子・高齢化、将来の需要予測の適切化等に基づいて、計画の定期的な点検と見直しを求められている。本市の財政状況、それから人口推計等を反映した全体計画の見直しを、五、六年ごとには行いながら、事業を進めていくことが必要だと考えている。

市長　この事業認可をとる前にはやはりある程度の前倒しというか、3年ぐらい前にはしっかりとしたそういうことも含めて、今後、対応していく。

学校給食費の公会計化を

今、全国各地で、学校給食費の取扱いが、これまでの「学校ごとの校長管理（＝私会計制度）」から「市の歳入歳出予算としての管理（＝公会計制度）」へ移行しています。公会計化を図ることにより、予算、決算審査や監査を受けることで、透明性が確保されます。

松浦市の学校給食費は、平成26年度で約2億7100万円となっており、安江ゆう子市議は学校が本来の教育活動に専念できるよう、松浦市でも学校給食の公会計化へ移行すべきだと質問しました

安江　給食の食材費の徴収方法は、学校現場ではどうなっていますか。

教育総務課長　学校現場においてはそれぞれ口座振替とか現金袋で徴収したあと、学校長の口座にお金を入れて、その後共同調理場長の口座へ振り込んでいる。

安江　教育現場では先生方が給食費の徴収袋をあげたりして徴収事務に関わって、子どもたちと接する時間がないところをどう考えますか。

教育長　再度、学校長とも相談しながらいい方策がないか検討していきたい。

安江　平戸市では平成29年度から公会計に移行したいと伺っています。全国では平成24年度、小学校で28・2%、中学校で37・4%が公会計に移行しています。会計の明朗性という点からしても、公会計に移行されるよう要望します。

いっしょうけんめい　安江ゆう子市議

5月28日　福祉施設の避難計画の説明を聞きに県庁へ

5月31日　長崎県障害者スポーツ大会（諫早市）

6月21日　トラック朝市

6月29日　鷹島神崎遺跡の現状説明と意見交換会

7月4日　星鹿保育園七夕祭り

7月5日　のき市1周年記念のイベント

7月20日　青島海のうまかもん祭り

太陽光パネルが着く御厨小学校